

空自奈良基地は展示飛行を中止せよ

2024 年 5 月 31 日

滋賀県知事 三日月大造 様

日本共産党滋賀県委員会

日本共産党滋賀県議団

航空自衛隊奈良基地が 29 日 13 時 20 分～14 時 20 分、6 月 1 日開催の「航空自衛隊創設 70 周年奈良基地祭」の事前訓練飛行を実施し、守山市、草津市、野洲市、大津市などの県内上空を、高度 500～1700 メートルの低空で飛行。突然のジェット戦闘機などの轟音に、周辺住民からは「下校時の子どもが怖がっている」「戦争でも起こったのか。怖い」「密集住宅地で事故が起されれば大惨事になる」など、不安と抗議の声が上がりました。

展示飛行はジェット戦闘機などを使用するもので、同基地によると、飛行訓練したのは戦術輸送機 C130H ハーキュリーズ 1 機、F15 戦闘機 2 機、T4 練習機 1 機。しかし、県には事前通告もなく、4 機のうち大型の戦術輸送機 1 機は、航空レーダーや県内外の監視団体の情報から、市街地上空を 10 回前後も旋回したことが判明しました。

展示飛行は同「基地祭」の一環として毎年実施されているものですが、奈良基地から滋賀県への事前通告すらありません。学校や保育園をはじめとした市街地上空での低空飛行訓練や展示飛行を行うことは極めて危険であり、絶対に許されません。県民の安全を守る立場から、航空自衛隊奈良基地に対し、事前通告のない飛行（訓練含む）の中止、「基地祭」での展示飛行の中止を求めるよう要請します。

以上